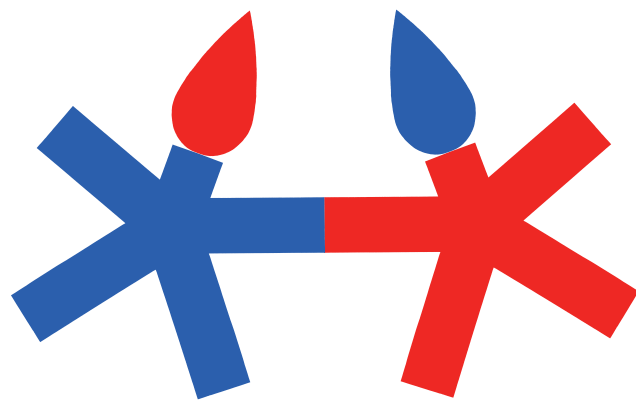




Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH
2019.10.18fri-11.4mon

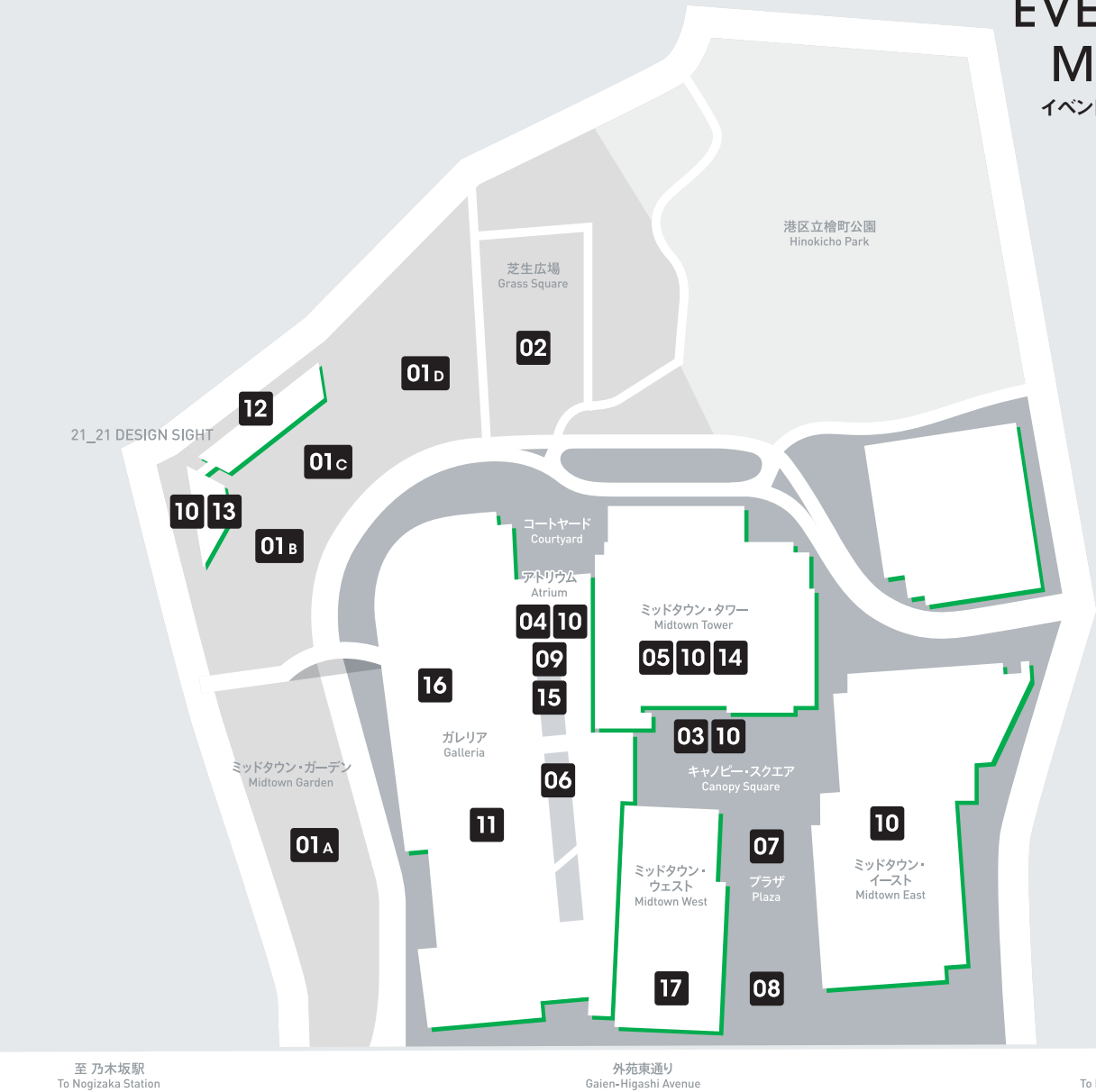
EVENT SCHEDULE

イベントスケジュール

No.	CONTENTS	PLACE	10月 October														11月 November			
			18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4
01	デザインの森 The Forest of Design																			
	A 六本木カラー渓谷 Roppongi Color Canyon	P.06																		
	B Moment モーメント	P.09																		
	C デザインのひろば Design Square	P.10																		
	D 森の学校 2019 by 六本木未来会議 School of Forest 2019 by Roppongi Future Talks	P.11																		
02	時計以上の何か Beyond Watchmaking	P.12																		
03	MAZDA DESIGN Exhibition マツダデザイン展示	P.15																		
04	ドコモとデザイン docomo x design	P.16																		
05	DESIGN TOUCH CONFERENCE by 東京ミッドタウン・デザイン部 デザインタッチ カンファレンス	P.17																		
06	Salone in Roppongi vol.7 2019 サローネ イン ロッポンギ vol.7 2019	P.18																		
07	DESIGNART TOKYO 2019 「intree table」 デザイナー・トーキョー2019 「インツリー テーブル」	P.19																		
08	TOKYO MIDTOWN AWARD 2019 受賞作品発表・展示	P.20																		
09	Hanzoo! ハンズー!	P.21																		
10	GOOD DESIGN EXHIBITION 2019 2019年度グッドデザイン賞受賞展	P.22																		
11	“東京ミッドタウン” あの店のGOOD DESIGN Looking for GOOD DESIGN	P.24																		
12	虫展 ーデザインのお手本ー Insects: Models for Design	P.26																		
13	Google Design Studio comma グーグル デザイン スタジオ カンマ	P.26																		
14	私の選んだ一品 ー2019年度グッドデザイン賞審査委員セレクション “My Favorite Design” ー The selection from GOOD DESIGN AWARD 2019	P.27																		
15	PAPIER TIGRE MOHEIM パピエ ティグル モヘイム	P.27																		
16	サントリー美術館 開館 50 周年 黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部 ー美濃の茶陶 The 50th anniversary of the Suntory Foundation for the Arts Mino Tea Wares: Kiseto, Setoguro, Shino, and Oribe	P.28																		
17	FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館 企画写真展 「覚醒する写真たち」今 道子 + 佐藤時啓 Fujifilm Square Awakenning Photographs: Michiko Kon + Tokihiro Sato	P.28																		

EVENT MAP

イベントマップ



メインビジュアルをつくったのはこの人

小林一毅 Ikki Kobayashi
グラフィックデザイナー

1992年滋賀県彦根市生まれ。2015年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。資生堂クリエイティブ本部を経て2019年独立。2016年東京TDC賞、2019年JAGDA新人賞、日本パッケージデザイン大賞銀賞受賞。



Designer's Message

手を取り合う二人。異なる特性を持つ彼らは互いを理解し、違いを認め、尊重し合う関係性を築いています。「私はあなたを思い、あなたは私を思う」そのような関係性が、いかに大きな可能性を秘めているか。私たちの未来がより良いものであるように、私たちにできることは何だろう。互いの感性が融合するような議論が生まれる場所になることを願って、このビジュアルを表現しました。

テーマ

FUSION / 融合

わたしたちは、さまざまなものが飽和する時代に生きています。

そのような世界では、

一個人では新たなものを生み出すことは難しい。

だからこそ、異なるものとの融合が

新しい発見や突破口になるのではないのでしょうか。

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2019では、

デザインと景色、サイエンス、遊びなどが融合することで生まれる

新しい価値を探ります。

We live in an age of saturation, overflowing in so many ways.

In such a world, it is hard for an individual to create something new.

That is precisely why a fusion of different things

can lead to new discoveries and breakthroughs.

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2019 seeks out new values

to be found by fusion of design, scenery, science, play, and other elements.

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH

東京ミッドタウン デザインタッチとは

「デザインを五感で楽しむ」をコンセプトに、2007年から毎年開催しているデザインの祭典。国内外の第一線で活躍するデザイナーや注目のデザインが、東京ミッドタウンに集まります。デザインの魅力や可能性を誰もが身近に体感できるイベントです。

A design based event that has been held since 2007 under the concept of "enjoying design through all five senses." This veritable festival of design brings together designers active both in Japan and overseas, accompanied by some stunning examples of design, imparting in an intimate and dynamically physical way the appeal and possibilities of design.

DESIGN TOUCH 360° by MILANO 360°

360°全天球型カメラで撮影する写真と映像を通して“ミラノデザインウィーク”の注目展示や作品を紹介しているMILANO 360° PROJECT。その特別版として、DESIGN TOUCH 2019の会場の様子や展示をレポートします。

<http://milano360.jp/>

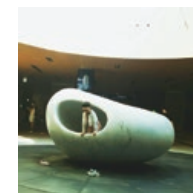


tokyo midtown ambassador



#midtown_amb

アートな風景や素敵なデザインを
とおきの1枚におさめて、
ハッシュタグをつけて投稿してみませんか？
www.tokyo-midtown.com/jp/ambassador



No. 01 デザインの森

The Forest of Design

10/18 Fri - 11/4 Mon 📍ミッドタウン・ガーデン

ミッドタウン・ガーデンに「見る」「考える」「遊ぶ」「創る」4つのコンテンツが登場。
なんだか楽しそう! そんな衝動のままに心躍らせ、色彩あふれる散歩道を進んでみてください。
さまざまな視点でデザインに触れられます。

五感を刺激する4つのコンテンツ



景色 × デザイン

デザインの森 | 見る

六本木カラー溪谷

Roppongi Color Canyon

10/18 Fri - 11/4 Mon

🕒 11:00 - 21:00 📍ミッドタウン・ガーデン

※荒天中止

今春のミラノデザインウィークでも話題となったクリエイター SPREAD が手がける、ダイナミックなインスタレーションです。「色景に浸(ひた)る」をコンセプトに約80mにわたり創り出されたのは、メッシュ生地を使った、見たことのない色鮮やかな世界。エネルギーに色彩の溪谷で、景色とデザインの融合をお楽しみください。

[料金] 無料 [主催] 東京ミッドタウン



夜はライトアップで
表情が変化

クリエイター

SPREAD (スプレッド)

山田春奈と小林弘和によるクリエイティブ・ユニット。環境・生物・物・時間・歴史・色・文字、あらゆる記憶を取り入れプロジェクトに深く関わりながら「カラーとコンセプト」を主にデザイン&ディレクション。社会提案をこめて表現する。今春のミラノデザインウィークでも話題に。



六本木カラー溪谷

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH
06

FUSION / 融合

07

六本木カラー溪谷



“大きな色に ひた 浸るような体験を。”

SPREADのお二人に
「六本木カラー渓谷」誕生の舞台裏、
創作の過程をうかがいました。

SPREADの「色」のルーツ

色は感覚です。色には自由さがあります。ただし、どこまでも自由ではなく、それぞれの人の記憶と結びついて呼び水のようになり、頭を開放してくれる。それが色です。

「色」に魅せられるようになった始まりは、20代の頃に見た南アフリカのサファリの光景です。何千年前と変わらない色、そのコントラストは強烈でした。そんな共通の記憶が二人の根底にずっと静かに流れていて、この数年でそのコントラストの鮮烈な印象が浮き上がってきていることを感じます。あの光景はSPREADの「色」や「コントラスト」のルーツのひとつです。

まずは二人で現場に足を運ぶ

わたしたちが作品をつくる際には、まず二人で現場に足を運びます。いかに現場に触れるか。回数を重ねるときもあれば、1回で深く感じるときもあります。例えば、海外の仕事の際でも現場に行く時間を大切にします。予定された下見の時間はもちろん、それに加えて1〜2日多く旅程を取っておきます。その予備日で出会ったものが、創作の大きな刺激やヒントになることがあります。空白の時間を用意しておくことは、案外大切なことかもしれません。

会場となるミッドタウン・ガーデンは、じつは普段から何度も行き来していた場所。わたしたちにとって、いい意味でここは「通り道」で、何かがある場所ではなく、気持

全長約1kmのカラフルなメッシュ素材のファブリックを使用した、80mにわたる色彩の渓谷がミッドタウン・ガーデンに現れます。

ちよく通過する場でした。

アイデアが生まれるときというのは、シャワーを浴びているときであったり、ただぼんやりと歩いている道の途中だったりします。そういう意味で、このミッドタウン・ガーデンは、何のストレスもなくただ歩ける場所。それは頭が開放される場所、感覚が「開かれる場所」です。

ロンドン滞在を機に計画を再考

「六本木カラー渓谷」は、当初のアイデアでは渓谷をそのまま持ってくるかのように、石や木をゴロゴロ置こうと考えていました。自然物をカラフルにして置くシュールさで表現しようとしていました。ただ、何かが引っかかっていたんです。

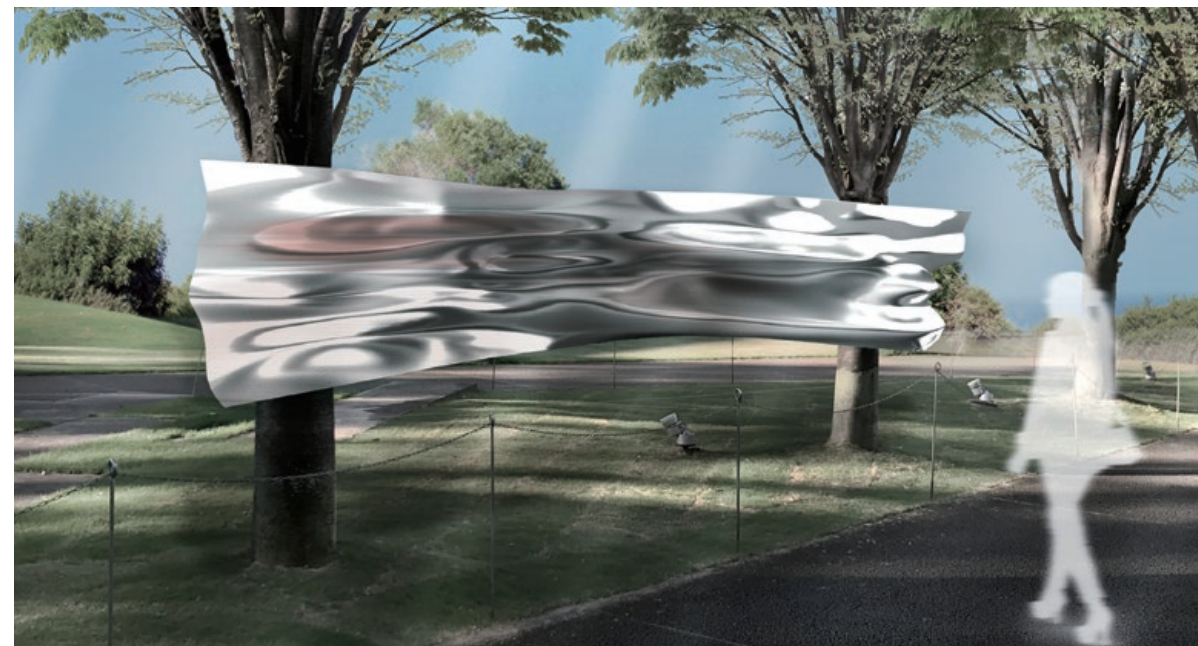
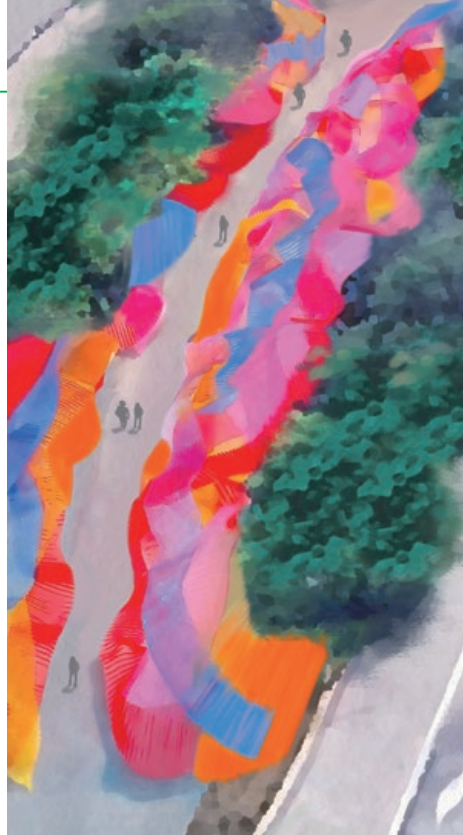
そんな中、今年4月、ロンドンに滞在した際、ピカデリーサーカスという中心地で、サスティナブルでない社会へNO!を訴えるデモに出くわしたのです。ヨーロッパの環境への意識の高さは、日本の比ではありません。ものをつくっていく人間として、その問題を突き詰める「ものをつくらない」という極論に達してしまうのですが、それでも「ものをつくっていく」自分たちは、この問題をスルーしてはいけなく感じました。

ミッドタウン・ガーデンにある植物や景

色を殺したくない。そう感じ、石や木を持ち込むのではなく、より抽象的に表現したい。そこに元々あるものや記憶が透けて感じられるような表現をしたいと考え始めたのです。その結果生まれたのが、今回のメッシュを使った渓谷というインスタレーションでした。

この道にはたくさんの人が行き交い、多くの記憶が重なっています。その記憶を上塗りせず残しながら表現するために、透けて幾重にも重なるメッシュは最適でした。メッシュには色っぽさや豊かな表情があります。また、メッシュは遠くから見れば一枚の布ですが、スケールを変えて近づくと、小さな四角が並ぶ一粒一粒の集まりです。これが、わたしたちが感じているコントラストの美しさをも表現してくれています。

選んだ色は、ミッドタウン・ガーデンの日常にある色たち。行き交う人の動脈と静脈、足元に小さく咲く花々、そこに集う小さな虫。それらの色を引き出し、透かし、重ねたのが「六本木カラー渓谷」です。わたしたちの表現は日常と地続きです。いつもの道を歩きながら、大きな色に浸（ひた）り、何かの記憶がくすぐられ、感覚が開かれる。そんな体験を楽しんでください。



サイエンス × デザイン

デザインの森 Ⅱ 考える

Moment

モーメント

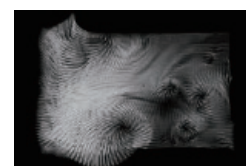
10/18 Fri - 11/4 Mon

🕒 11:00 - 21:00 📍 ミッドタウン・ガーデン

※ 荒天中止

時間をテーマにした彫刻が登場。この作品では、「一瞬」という時間を表現するために、モチーフとして風を選んでいきます。サイエンスの力で、人間の目では捉えることができない瞬間の風の形を可視化し、彫刻として表現しました。普段は目に見えない「一瞬」という時間の概念が、有形物として目の前に現れたとき、鑑賞者はその時間のもつ意味に、改めて向き合うことになります。また、ただ見るだけでなく、ミラー素材の作品に鑑賞者自身が映り込むことにより、人生という長くも短い時間の中で、その人が発見すべき日常に潜む美について考えるきっかけを提供します。

【料金】無料 【主催】東京ミッドタウン 【制作協力】HAKUTEN



風の姿から「一瞬」を感じる

コンピュータシミュレーションによる風の可視化。白い線が長いほどスピードがあり、線の向きが風向を表しています。

クリエイター

脇田 玲 Akira Wakita

アーティスト、サイエンティスト、慶應義塾大学環境情報学部教授。流体力学や熱力学に基づく独自ソフトウェアを開発し、科学と美術を横断する映像表現に注力。アート&サイエンスをキーワードにコラボレーションを展開。2016年に開始した音楽家 小室哲哉とのオーディオ・ビジュアル・プロジェクトでは、Ars Electronica Festivalでの8K展示なども話題に。



Creator's Message

“情報や体験がリアルタイムかつインタラクティブに流布する現代において、流れゆく時間をどのように捉えるかは、人として豊かに生きるうえで重要な問いではないでしょうか。普段は見逃している「一瞬」に存在する無限の美に目を向けてみてください。そこにある美を感じられたら、いつも見ていた何気ない日常が、違った世界に見えてくるかもしれません。”

21_21 DESIGN SIGHTで開催中の企画展
「虫展—デザインのお手本—」でも作品を展示中

👉 詳しくはP.26へ





※イメージ

遊び × デザイン

デザインの森 Ⅱ 遊ぶ

デザインのひろば

Design Square

10/18 Fri - 11/4 Mon

🕒 11:00 - 17:00 📍ミッドタウン・ガーデン

※雨天・荒天中止

プロダクトデザイナーの深澤直人やインテリアデザイナーの五十嵐久枝がデザインした、グッドデザイン賞受賞の遊具が並びます。より良い子どもの「あそびの環境」を考えるPLAY DESIGN LABによる5種類の遊具は、カラフルでシンプル、まるでオブジェのよう。普段の公園とはひと味違う遊具が「遊ぶ」という感覚を広げます。

【対象年齢】1～6歳

【料金】無料

【主催】東京ミッドタウン

【協力】株式会社ジャクエツ

遊具を手がけたのはこの人たち

株式会社ジャクエツ JAKUETS

福井県を拠点に「あそびの環境」を考える、遊具メーカー。全国の幼稚園、保育園、こども園などに教材や遊具を届けて100年以上。安全とデザイン性を重視し、子どもを取り巻くあらゆる環境を創出する。



クリエイター

PLAY
DESIGN
LAB

PLAY DESIGN LAB
プレイデザインラボ



深澤直人
Naoto Fukasawa



五十嵐久枝
Hisae Igarashi

5つの遊具に触れて遊ぼう



OMOCHI
Design | 深澤直人



BANRI
Design | 深澤直人



Seed
Design | 五十嵐久枝



ソフトドームスライダー
Design | 五十嵐久枝



KUMO
Design | PLAY DESIGN LAB



デザインのひろば

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH
10



自然 × デザイン

デザインの森 Ⅱ 創る

森の学校2019 by 六本木未来会議

School of Forest 2019 by Roppongi Future Talks

10/19 Sat - 10/20 Sun

🕒 11:00 - 17:00 📍ミッドタウン・ガーデン

※雨天・荒天時はプラザB1

ウェブマガジン「六本木未来会議」のアイデア実現プロジェクト「森の学校」が特別開校。青空のもと、異なるジャンルのクリエイターが、人間がもつ野生の感覚を呼び覚ますような特別授業を行います。人気連載「デザインとアートの本棚」のリアル本棚も登場!

【料金】無料・事前申込制 【主催】ウェブマガジン六本木未来会議

参加方法 Peatixから事前にお申し込みください。

Class 01

10/19 Sat 🕒 13:30 - 15:30

図工 「視点の採集」三澤 遥 先生

日常には未知があふれています。見慣れたものをいつもと異なる視点で捉え直すだけで、世界が変わって見えてくることを体験する授業です。

デザイナー | 三澤 遥 Haruka Misawa

デザインオフィスnendoを経て、2009年より日本デザインセンター原デザイン研究所に所属。2014年より三澤デザイン研究室として活動開始。ものごとの奥に潜む原理を観察し、そこから引き出した未知の可能性を視覚化する試みを、実験的なアプローチにより続けている。



21_21 DESIGN SIGHT 「虫展ーデザインのお手本ー」(P.26)との連動企画です。

Class 02

10/20 Sun 🕒 13:30 - 15:30

技術 「丸太の解体!」中川周士 先生

丸太をまるごと解体し、まな板をつくります。原始的なやり方を体験することで自然に対する人間の関わり方について考えます。

木工職人 | 中川周士 Shuji Nakagawa

中川木工芸の三代目。木桶製造技法を中心に指物(さしもの)、ろくろ、割(く)りもの技法などを組み合わせ、次代につながる新しい木桶を生み出しています。2010年ドンペリニョンの公式クーラーを製作、2017年ロエベクラフトブライズファイナリスト。



六本木未来会議
デザインとアートと人をつなぐ場に

2012年にスタートしたウェブマガジン。第一線で活躍するクリエイターへのインタビューやプロジェクトを通じて、六本木エリアのデザインやアートに関する情報を発信し続ける。
<https://6mirai.tokyo-midtown.com/>

FUSION / 融合

森の学校2019





デザイナー、マティユー・ルアヌールの着想に基づいて設計された、ブロンズカラー仕上げのリング状のパビリオン。内部には巨岩や苔などを配し、オーデマ ピゲ創業の地ル・ブラッシュの自然を表現。

人の創造力 × 才能

No. 02 時計以上の何か

Beyond Watchmaking

10/19 Sat - 11/4 Mon 11:00 - 19:30 芝生広場
※初日は15:00-20:00 ※最終受付は閉場の30分前まで

芝生広場に登場する30×45mの巨大なパビリオンは、スイスの高級時計ブランド Audemars Piguet (オーデマ ピゲ) によるエキシビション会場。時計の文字盤をイメージして設けられた12の部屋では、時計師たちによるムーブメント*の装飾なども披露されます。歴史的価値のあるヴィンテージウォッチから現行モデルまで、150点におよぶモデル展示も圧巻です。なお、事前予約によりスムーズにご入場いただけます。

*時計の動きをつかさどるパーツ

[料金] 無料・事前予約可
[主催] Audemars Piguet (オーデマ ピゲ)

AUDEMARS PIGUET
Le Brassus

Audemars Piguet (オーデマ ピゲ) とは

1875年創業。世界三大高級時計のひとつとして知られるスイスの歴史ある高級時計ブランド。今なお創業者一族であるオーデマ家、ピゲ家が経営を担う。ジュラ山脈に抱かれたジュウ渓谷、ル・ブラッシュの地で、時計学の粋を極めた数々の厳選されたマスターピースを制作し、世界の高級時計史に数々の歴史を刻み続けている。

Audemars Piguet のアートへの取り組み

2012年より、複雑性と正確性というテーマと共にブランドの故郷、ル・ブラッシュを紐解く作品をアーティストに依頼。財政支援だけでなく専門的技術や道具も提供し、コンテンポラリーアートとオールドロジュリーとの創造的な対話を育む。ブランドの職人技や革新的な精神と共鳴するアーティストとの特別プロジェクトも多数。

世界が注目する日本人アーティストの最新作が登場します

巨大なスクリーンでは、オーデマ ピゲがサポートするアーティストの1人、池田亮司のデジタルアートが披露されます。「data-verse / データ・バース」と名付けられた3部作の第2作で、目に見えない素粒子の世界から宇宙、人間社会までを広大なデータで表現。第1作はヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展にて同時展示中。

クリエイター

池田亮司 Ryoji Ikeda
電子音楽作曲家、ビジュアルアーティスト。1966年生まれ。数学的な精度や美学を用いて音や光の本質的特性を追求。音や画像、素材、物理や数学などを操り、概念を超えた極限や無限を深く探求し、人間のもつ感覚やデジタル技術の限界に挑む。実験的な作品は世界中で注目を集める。



※イメージ

予約方法 特設WEBサイトから事前予約が可能。ページ下のQRコードを読み込むと下記URLに簡単にアクセスできます。
<https://www.tokyo-midtown.com/jp/event/designtouch/watches.html>



時計以上の何か

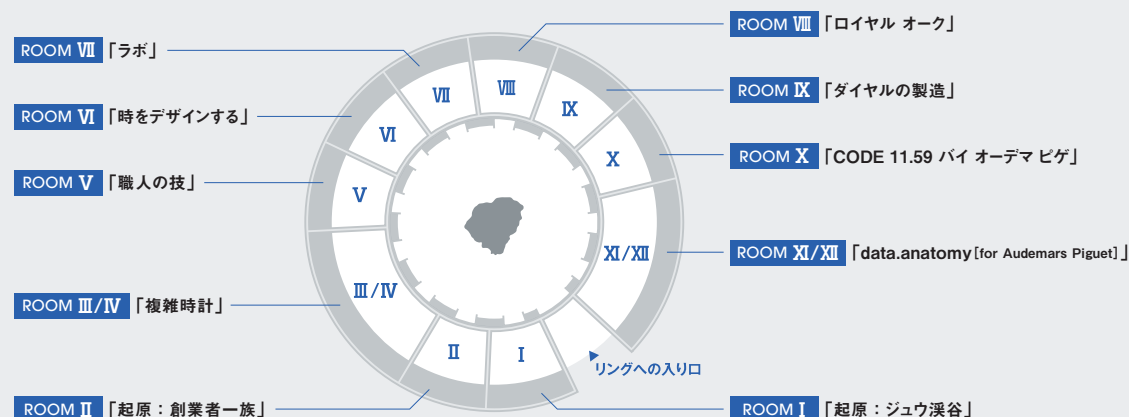
Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH
12

FUSION / 融合
13

時計以上の何か



Exhibition Detail



創業の地の風土、 型破りな創作を可能にする 時計師たちの息づかいを 12の部屋で体感。

ROOM I 「起原：ジュウ渓谷」

ジュウ渓谷はジュネーブの北方、ジュラ山脈に位置し、オーデマ ピゲの誕生の地であると同時に、スイスの複雑時計の揺りかごとでも知られている厳しい自然が凌駕する地域です。この空間は、ダン・ホールズワースの写真と鉄分を含有する石がどのようにハイエンド・ウォッチメイキングで使用されるパーツへと変貌を遂げていくかをご覧いただけます。

ROOM V 「職人の技」

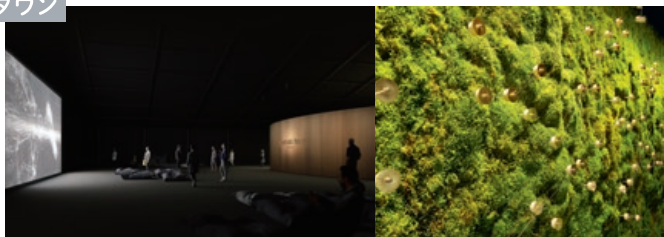
伝統的なハイエンド・ウォッチメイキング技術を維持しつつ、その基本的な知識を次世代の若い時計師たちに継承していくことは、オーデマ ピゲにとって一番大切な目標と言えるでしょう。このスペースでは、来場者が時計づくりの非常に細かい技術を間近でご覧いただけます。

ROOM IX 「ダイヤルの製造」

ロイヤル オークの重要なポイントのひとつはその文字盤にあります。40年以上前に用いられた技法を忠実に守りながらも、その象徴的なギョシェ技法や「タペストリー」文字盤をつくる「技術の粋」は現在も息づいています。このスペースでは、文字盤がつくられる様子を実際にご覧いただくことによって、それがいかに複雑な工程であるかを実感していただけます。

日本初上陸のパビリオン×東京ミッドタウン

2016年、中国・上海を皮切りに世界を巡回している展覧会が日本初上陸。創業の地へ強い想いを抱くオーデマ ピゲ。ル・ブラッシュの風土、型破りなブランド哲学を、デザイン＆アートの街、東京ミッドタウンから発信します。



ヒカリ × デザイン

No. 03 MAZDA DESIGN Exhibition マツダデザイン展示

10/18 Fri - 10/27 Sun 11:00 - 21:00 キャンプ・スクエア ※荒天中止

「クルマは単なる鉄の塊ではない。クルマに命を吹き込み、人とクルマをエモーショナルにつなぎたい」というマツダの魂動デザインの考え方を具現化したCX-30。「光の移ろい」をテーマにしたクリエイティブな空間で、CX-30がもたらす光のドラマをぜひ実際にご覧ください。

[料金] 無料

[主催] マツダ株式会社



Concept

見るたびに心が動く
所有することが歓びを生む

昨年のデザインタッチで披露したVISION COUPEは、「魂動（こどう）— SOUL of MOTION」というマツダ独自のデザイン哲学のもと創造された、我々の理想形そのものです。そのエレガントな「光の移ろい」は、マツダの新世代商品にも受け継がれています。CX-30を見るたびに心が動き、所有する歓びを感じていただけるような毎日を届けたいと願っています。



時計以上の何か

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH

14

FUSION / 融合

15

MAZDA DESIGN
Exhibition





プロダクト × デザイン

No. 04 ドコモとデザイン

docomo × design

10/18 Fri - 10/27 Sun 11:00 - 21:00 アトリウム

いままで一般公開したことのないスマートフォンなどの「プロトタイプ」や「スケッチ」を数十点展示します。商品の「あるべきかたち」を追い求め、デザイン試作を繰り返し、新しい商品を生み出してきました。ドコモが何を考え、どう取り組んでいるのか。実際に触れられるものを通じて「ドコモが考えるプロダクトデザイン」をぜひ感じてください。

【料金】 無料
【主催】 株式会社NTTドコモ
【取材協力】 デザイン誌「AXIS」

Concept

ドコモはプロダクトのあるべきかたちを目指し、試行錯誤を重ねながら、アイデアと技術をつなげていく。

そして、時代の一步先を見つめ、持つ人があふれる感と期待感を感じられるようなプロダクトを目指している。

あらゆる人にとって、豊かなコミュニケーションがあたりまえになることを願って。

クリエイター × クリエイター

No. 05 DESIGN TOUCH CONFERENCE

by 東京ミッドタウン・デザイン部

10/25 Fri - 10/27 Sun

東京ミッドタウン・カンファレンス ROOM1、ROOM9 (ミッドタウン・タワー 4F)

DESIGN TOUCH 2019「デザインの森」のクリエイターによるトークのほか、デザインとイノベーション、ビジネス、都市に関わるトップランナーが登場する8セッションです。多様な価値観が融合する未来におけるクリエイティブの可能性についてディスカッションします。詳細は東京ミッドタウン・デザインハブWEBサイトにて。

参加方法 Peatixから事前にお申し込みください。

10/25 Fri

【ROOM9】 17:00 - 18:30

HIDA × Cleanup
「シンプルに考える料理とゆとりのある暮らし」



photo: 宮本直幸
タサン志麻
家政婦・料理人



五十嵐久枝
インテリアデザイナー

司会: 鈴木里子 (編集者)

忙しい毎日を送る方に向けた食住空間、飛騨産業とクリナップのコラボレーションで生まれたキッチンテーブルの発表にあわせ、テレビで話題の「伝説の家政婦」タサン志麻氏と五十嵐久枝氏がゆとりを生み出すキッチン・空間についてトークします。

【ROOM9】 19:30 - 21:00

「デザインの森・Moment」
クリエイターズトーク



脇田 玲
アーティスト
サイエンティスト



於保浩介
WOW
クリエイティブディレクター

ミッドタウン・ガーデンに登場する「デザインの森」で新作のインスタレーション作品「Moment」を展示する脇田玲氏とWOWチーフクリエイティブディレクターの於保浩介氏が、作品のバックストーリーのほか「映像とデザイン」をテーマにお互いのクリエイションについて語ります。

デザインの森 | Moment P.09

10/26 Sat

【ROOM1】 11:00 - 12:30

六本木未来大学
「クリエイティブ・カウンセリングルーム
～クリエイターの心を精神科医が説明!～」

六本木未来大学

本物の「クリエイティブディレクション」を学ぼう。

市原えつこ メディアアーティスト / 妄想インベンター
濱田章裕 精神科医 / クリエイティブカウンセラー
横石 崇 & Co. 代表取締役

【ROOM9】 13:00 - 14:30

「JST CREST xDiversity
第8回 シンポジウム」

落合陽一 筑波大学 准教授
菅野裕介 東京大学生産技術研究所 准教授
遠藤 謙 ソニーCSL / Xiborg
本多達也 富士通株式会社

【ROOM9】 15:30 - 17:00

「ULTRA PUBLIC PROJECT |
WHAT is PARK? Part.2」

ULTRA PUBLIC PROJECT
メンバー
齋藤精一 Rhizomatiks Architecture
西牟田 悠 電通ライブ
伊藤雅人 日建設計



【ROOM9】 18:30 - 20:00

「HELLO, DESIGN
読み書き そろばん デザイン」

石川俊祐 AnyProjects inc. 共同創設者 / デザインディレクター



東京ミッドタウン・デザイン部とは
東京ミッドタウン・デザインハブを拠点に、街や日常生活を「デザイン」という視点から再発見、この街での生活や仕事をもっと楽しむための活動です。

【料金】 無料・事前予約制

【主催】 東京ミッドタウン・デザイン部

10/27 Sun

【ROOM9】 13:00 - 14:30

「デザインの森・六本木カラー渓谷」
クリエイターズトーク



SPREAD
(山田春奈・小林弘和)
クリエイティブ・ユニット



山田 遊
クリエイティブディレクター
バイヤー

今年のデザインタッチを彩る「六本木カラー渓谷」を手がけるSPREAD山田春奈・小林弘和両氏と、二人をよく知るmethod山田遊氏によるトーク。今作のコンセプトや製作のストーリーなど、これまでの作品や活動を掘り下げてSPREADのデザインの根拠に迫ります。

デザインの森 | 六本木カラー渓谷 P.06

【ROOM9】 15:30 - 17:00

「TOKYO2021-2020以降の東京-」



藤村龍至
建築家



永山祐子
建築家

「島京2021」を課題に今夏開催された「TOKYO 2021」建築展は、現在の東京の姿を、エリア＝島の集合体の都＝「島京」と呼び、この先の東京のあり方を学生や若い世代の建築家の対話を通じて問い直す試み。課題作成を担った藤村龍至氏と、「TOKYO2021」の企画アドバイザーを務めた永山祐子氏、ほかゲストによるセッションを開催します。



ドコモとデザイン

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH

FUSION / 融合

DESIGN TOUCH
CONFERENCE





デザイン × サスティナブル

No. 06 Salone in Roppongi vol.7 2019

サローネ イン ロッポンギ vol.7 2019

10/18 Fri - 11/4 Mon 11:00 - 21:00 ガレリアB1「DEAN & DELUCA」前

イタリア・ミラノで毎年開催される世界最大のデザインイベント「ミラノ・サローネ」の賑わいを六本木に!を合言葉に、今年も開催する Salone in Roppongi。7回目となる2019年は、世界の目利きバイヤーが一目おいているセレクトショップ、オルランディで2012年から隔年出展している Rocca SPIELE のデザイナー柿木原政広がサスティナブルをイメージしてつくったモビールを展示します。

【料金】 無料

【主催】 Salone in Roppongi 実行委員会

【協力】 大日本印刷株式会社、東京ミッドタウン

Salone in Roppongiとは

世界中のデザイナーが集まり町中が熱気に包まれるデザインの祭典「ミラノ・サローネ」。その息づかいを伝えるべく2013年にスタート。年に一度、世界を舞台に活躍するクリエイターらの作品を六本木から発信しています。

クリエイター

柿木原政広 Masahiro Kakinokihara

1970年広島県生まれ。ドラフトを経て2007年に株式会社10(テン)を設立。主な仕事に singingAEON、静岡市美術館、信毎メディアガーデンのCI。美術館のポスターを多く手がける。カードゲーム Rocca をミラノ・サローネに2012年から隔年出展。著作に福音館の絵本「ぼんちんぱん」など。2003年 JAGDA 新人賞受賞。New York ADC 賞、ONESHOW PENCIL 賞、東京 ADC 賞、GOOD DESIGN 賞受賞。



Creator's Message

正方形から円をくりぬいたあとに残る形。円を使うとずれてしまう方のかげら＝「PIECES」に眼をむけて、モビールを作ります。風を受けてゆらぐ「PIECES」は、そのときの動きや、みる人の気持ちによって、さまざまにうつるはず。規則的な秩序を感じさせることもあれば、遊ぶこどものように気ままにも見える。いつもは脇役の形が集まり、新しい感情をよびます。そんな場所を作りたいと思っています。



ファニチャー × ランドスケープ

No. 07 DESIGNART TOKYO 2019 「intree table」

デザイナー・トーキョー 2019「インツリー テーブル」

10/18 Fri - 11/4 Mon 11:00 - 19:00 プラザ1F「KONAMI 本社」前 ※雨天・荒天中止

期間中、同時開催される「デザイナー・トーキョー」の出展作として「intree table」が登場。公共空間に小さなプライベートスペースをつくり出すためにデザインされた屋外用の家具作品です。テーブルで体を支えながら着座すると座面は小枝のようにスイング。木々と一体になった不思議な感覚に包まれます。どこか懐かしい空間体験の中で、新しいコミュニティ領域を感じ取ることができます。

【対象年齢】 16歳以上

【料金】 無料

【主催】 DESIGNART 実行委員会

【協力】 東京ミッドタウン

DESIGNART TOKYOとは 10/18 Fri - 10/27 Sun

「Emotions ～感動の入り口～」をコンセプトに、世界屈指の超ミックスカルチャー都市・東京の街を舞台に繰り広げられるデザイン&アートフェスティバル。2018年は約90の会場、120の展示が開催される約12万人が来場。



クリエイター

team balanco

チームバランコ

園三

大建設計/大建都市開発

なわケンジム

杉山製作所

タキセワークス

F-FURNITURE 藤岡木工所

大洋芸



© team balanco

Creator's Message

「家具のような建築/庭のような家具/建築のような庭」チームの作品は建築・家具・ランドスケープを融合(FUSION)し、新しいコミュニティ空間をつくり出すデバイスとして機能します。



Salone in Roppongi
vol.7 2019

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH

FUSION / 融合

intree table



デザイン × アート

No. 08 TOKYO MIDTOWN AWARD 2019

受賞作品発表・展示

「JAPAN VALUE (新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街」というコンセプトのもと、今年で12回目を迎えるコンペティションです。

[料金] 無料
[主催] 東京ミッドタウン



受賞作品発表・授賞式

Award Ceremony

10/18 Fri
16:30 - 17:30

📍プラザB1 アート作品「意心帰」前特設会場

※見学可。会場が混雑した場合、一部入場を制限させていただきます。

「デザイン」と「アート」の2部門で開催されるコンペティション。
応募総数 1,278点から選ばれた16作品が発表されます。

授賞式の様子はWEB上で配信します。※詳細は公式サイトをご確認ください。



※昨年の授賞式の様子

受賞作品展示

Exhibition of Award-winning Works

10/18 Fri - 11/10 Sun
📍プラザB1

最終選考に残った16作品を展示。

39歳以下を対象にした本コンペティションで花開いた、
若き才能、新しいアイデアに触れられます。



※昨年の展示の様子

あなたの一票で
新しい才能を応援しよう



東京ミッドタウン・オーディエンス賞

一般投票によって選ばれる「オーディエンス賞」。あなたの五感に響いた作品に一票投じてみませんか？ 投票に参加された方には抽選でプレゼントも。結果は11月中旬にWEBで発表します。

デザインコンペ 審査員



©Junya Ishigami + associates

石上純也
Junya Ishigami
建築家



伊藤直樹
Naoki Ito
クリエイティブディレクター



えぐちりか
Rika Eguchi
アーティスト / アートディレクター



川村元気
Genki Kawamura
映画プロデューサー / 小説家



中村勇吾
Yugo Nakamura
インターフェースデザイナー

アートコンペ 審査員



©Katsuhiko Ishikawa

大巻伸嗣
Shinji Ohmaki
アーティスト

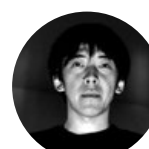


金島隆弘
Takahiro Kaneshima
アートプロデューサー /
芸術学研究者



photo by Takashi Koshba

川上典李子
Noriko Kawakami
ジャーナリスト /
21_21 DESIGN SIGHT
アソシエイトディレクター

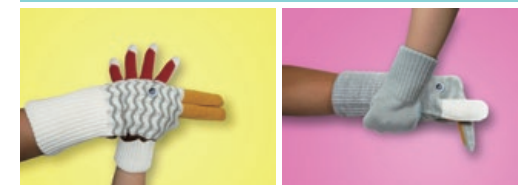


クワクポリョウタ
Ryota Kuwakubo
アーティスト /
情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]
准教授 /
多摩美術大学情報デザイン学科
非常勤講師



courtesy: The Japan Foundation

鈴木康広
Yasuhiro Suzuki
アーティスト /
武蔵野美術大学
空間演出デザイン学科准教授 /
東京大学先端科学技術研究センター
中邑研究室客員研究員



デザイン × コミュニケーション

No. 09 Hanzoo!

ハンズー!

10/18 Fri - 11/4 Mon
11:00 - 21:00

📍ガレリア1F 「Bonpoint」前

手袋を、親と子、子と子、家族のコミュニケーションツールとしてリデザイン。手を守る・温めるという機能的価値に、触れ合う楽しさという情緒的価値を融合したプロダクトです。手袋をはめた指や手の自由な動きが生み出す可能性を、その手で感じてみてください。その他のプロダクト展もありますので、ぜひご覧ください。

[料金] 無料

[主催] DAIKO / Product Lab.

企画したのはこの人たち

Product Lab.

驚き、感動、行動を喚起するような新しい切り口・アイデアを取り入れたプロダクト開発を通じ、「Product×Act」を創造するチーム。「MILANO 360°」も手がける。

ProductLab.



TOKYO MIDTOWN
AWARD 2019

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH

20

FUSION / 融合

21

Hanzoo!



No. 10 GOOD DESIGN EXHIBITION 2019

2019年度グッドデザイン賞受賞展

10/31 Thu - 11/4 Mon 11:00 - 20:00

※「ロングライフデザイン賞」展示は10:00～19:00 ※最終日は18:00まで ※入場は閉場30分前まで

東京ミッドタウン館内各所(メインエントランスは東京ミッドタウン・ホール)

<http://www.g-mark.org/gde2019/>



GOOD
DESIGN
EXHIBITION
2019



GOOD DESIGN EXHIBITION 2019は、「これを見れば今年のデザインのトレンドがわかる」国内最大級のデザインイベントです。今年のテーマは、「GOOD DESIGN MUSEUM」。メインエントランスで、60年以上にわたるグッドデザイン賞の歴史に触れた後、2019年度の実賞作品約1,400件の展示へとつながり、東京ミッドタウンの各所を巡りながらGOOD DESIGNの世界を味わえます。会期初日には、会場内ステージでグッドデザイン大賞の投票に参加するチャンスも。暮らしに身近なグッドデザインを、存分に楽しめる5日間です。

[料金] 無料

[主催] 公益財団法人日本デザイン振興会

グッドデザイン賞とは

1957年から続く、デザインで暮らしや社会をよりよくするための活動。デザインの優劣を競うのではなく、審査を通じて新たな「発見」をし、Gマークとともに社会と「共有」することで、次なる「創造」へつなげます。



クリエイティブ

「Gマーク」は東京オリンピックのポスターなどでも有名な、グラフィックデザイナーの亀倉雄策氏のデザインで、正円に内接した正四角形を64分割したグリッドが基本形になっています。今年のキー・ビジュアルはそのグリッドがモチーフです。



[会場デザイン] 成瀬・猪熊建築設計事務所
[グラフィックデザイン] 色部義昭(日本デザインセンター 色部デザイン研究所)

来場者特典

会期中、会場内にて配布のグッドデザイン賞受賞展ガイドブックを東京ミッドタウン内対象店舗へご提示いただくと、お得なサービスが受けられます。

〇お一人様各店舗1回限り／複数店舗で利用可能

※詳しくは館内配布のリーフレットまたは特設サイトをご覧ください。

Exhibition Detail

21_21 DESIGN SIGHT



エントランス 東京ミッドタウン・ホール入口(ミッドタウン・イーストB1)

Good Design Archives

グッドデザイン賞の歩みを、現物や画像で振り返る、アーカイブ展示。60年以上にわたるデザインの変遷をぜひご覧ください。

エリアA 東京ミッドタウン・ホール(ミッドタウン・イーストB1)

BEST100, Special Exhibition & Stage

1 特別賞・ベスト100受賞展 [Special Awards & BEST100]

2019年度の全受賞対象の中から、未来を切り開くデザインとして特に高い評価を得た「特別賞」「ベスト100」受賞デザインの特別展示です。



2 特設ステージ [Stage]

審査委員や受賞デザイナーによるトークイベントを幅広いテーマで開催。デザインの今をともに考えます。



3 スーベリアカンパニー 2019

本年度グッドデザイン賞の受賞件数ランキング上位の企業による、特別展示ブース。最新鋭の企業デザインに触れるチャンスです。



4 アジアンデザイン展

グッドデザイン賞とコラボレーションして設立されたタイ、インド、インドネシアのデザイン賞受賞作品の特別展示ブースです。



エリアB アトリウム

GOOD DESIGN STORE

GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARAのポップアップストアが今年も登場。お気に入りのグッドデザインをみつけてください。



エリアC 21_21 DESIGN SIGHTギャラリー3

LONG LIFE DESIGN EXHIBITION 2019 2019年度ロングライフデザイン賞受賞展

時代を超えて、スタンダードであり続けるデザインに贈られる「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」。これまでもこれからも私たちの暮らしを豊かに支えるデザインを紹介します。



エリアD キャンピニー・スクエア

BEST100, Special Exhibition

ベスト100の中から、大型で実際に中に入ってみたり、触れてみたり、体験ができるデザインの特別展示。グッドデザイン賞ならではのデザインをご覧ください。



エリアE・F カンファレンス／デザインハブ
(ミッドタウン・タワー 4F/5F)

Awards Exhibition

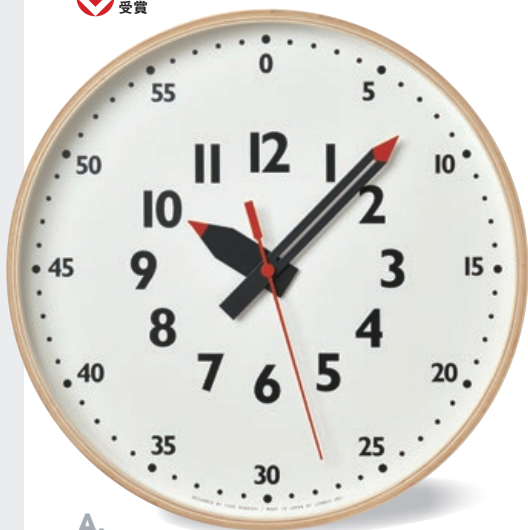
日用品、家電、建築から、普段見ることのできない産業・医療機器、アプリやウェブ、サービス、社会貢献活動や地域活性化の取り組みまで、ありとあらゆる今年の受賞デザインに触れてください。



館内で使える
特典スクラッチカードを
1会計につき1枚
プレゼント!

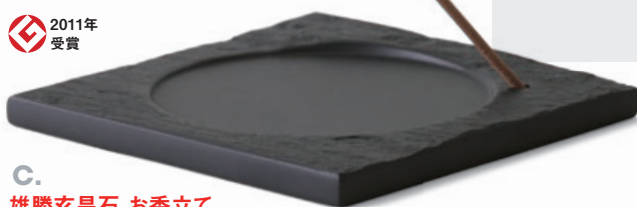


2017年
受賞



A.
fun pun clock
Mサイズ ¥8,000
IDÉE SHOP/IDÉE CAFÉ PARC
ガレリア3F / 03-5413-3455

2011年
受賞



C.
雄勝玄昌石 お香立て
¥1,500
STYLE MEETS PEOPLE
ガレリア3F / 03-5413-3705

D.
SUSHI ¥3,800
PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE
ガレリア2F / 03-5413-7257

2013年
ロングライフデザイン特別受賞
(衣服および小物)



B.
**アモルフォ
プレミアム卓上カセットコンロ**
¥25,000
Flagship 212 KITCHEN STORE
ガレリア3F / 03-5413-7686

2010年
受賞

2003年
受賞



E.
SPLASH 各¥5,000
KONCENT
ガレリア3F / 03-6432-9157

2010年
受賞



F.
山中漆器 | Karmi 茶筒
(左) 釜 / Soji ¥12,000
(右) 樽 / Fuki ¥13,000
WISE・WISE tools
ガレリア3F / 03-5647-8355

10/18 Fri - 11/4 Mon
館内各ショップ

デザイン性の高いプロダクトが並ぶ東京ミッドタウンのショップ。
フロアをめくりながら
多彩なGOOD DESIGN 受賞作品に出会えます。

[主催] 東京ミッドタウン



G.
重箱
中 / 蓋 ¥2,000、身 ¥4,000
小 / 蓋 ¥2,400、身 ¥1,600 ~ ¥4,800
TIME & STYLE MIDTOWN
ガレリア3F / 03-5413-3501

2014年
受賞

H.
**コードレス
スティッククリーナー**
¥22,636
無印良品
プラザB1
03-5413-3771

2018年
受賞

A.
コンセプトは「時計が読めない子が、読みたいと思うアナログ時計」。12進法と60進法の数字が並ぶ文字盤に、鉛筆形の針を合わせたシンプルで愛嬌のある壁掛け時計です。「fun(ふん) pun(ぶん) clock」という名前もユニーク。

B.
洗練されたフォルムと艶めき、整然と並ぶスタイリッシュなブルーの炎。まるでオブジェのようなカセットコンロです。炎が内側に向かう内炎式バーナーで加熱効率も良く機能的にも申し分なし。ひと味違う食卓を演出します。

C.
600年の歴史をもつ伝統的工芸品「雄勝硯(おがつすずり)」と同じ天然石でできたお香立て。産地である宮城県石巻市の雄勝石は2億3千万年前のものとも言われ、しなやかな漆黒の石肌が見どころ。コースターとしても使えます。

D.
ロングライフデザイン特別受賞ブランドが手がけるのは、遊び心にあふれた寿司折り。広げるとなんとそれぞれボーチやボッシュに！小さいながらも縫製後に施すブリーツ手法は健在。仕上がりの良さとアイデアに脱帽です。

E.
水たまりにできる水はねをモチーフにしたカラフルな傘立てです。幅約16cmとコンパクトながら最大で15本もの傘を収納。雨の日でなくても玄関先を華やかにしてくれるデザインが、多くの人に愛されています。

F.
全国一のろくろ挽きの産地、石川県山中でひとつずつ手挽きによってつくられる茶筒。表面に施された「千筋」と呼ばれる繊細な細工、なめらかに開閉する蓋など、卓越した木地師の技が詰まった逸品。贈り物にも最適です。

G.
日本の伝統的な和柄をデザインしたモダンな箱型のお重は、器も蓋も1個から購入可能。好みの柄合わせを楽しめます。電子レンジにも対応しているので、ハレの日だけでなく日常使いにも。つくり置きがご馳走になる器です。

※「小」の上段のみ電子レンジ非対応

H.
無駄のないシルエットで立ち姿も美しい、充電式コードレス掃除機です。スリムな上にインテリアに馴染むデザインなので、家庭でもオフィスでも身近に置いていつでも手軽にお掃除できます。ターボモードもあり吸引力も十分。



あの店の
GOOD DESIGN

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH
24

FUSION / 融合
25

あの店の
GOOD DESIGN



※価格はすべて税抜です。

同時開催

No. **12** 21_21

虫展 ーデザインのお手本ー

Insects: Models for Design

7/19 Fri - 11/4 Mon

🕒 10:00 - 19:00

📍 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1&2

※火曜日休館(10/22は開館) ※入館は閉館の30分前まで

私たちの身近にしながら、じつはまだ分からないことだらけの「虫」。本展覧会では、自然を映し出す存在である「虫」の驚くべき仕組み、構造、そして知れば知るほど不思議なその生態を、さまざまな視点から見つめます。虫の多様性や人間との関係性を通して、デザインの新たな一面を虫から学ぶ展覧会です。展覧会ディレクターにはグラフィックデザイナーの佐藤 卓、企画監修には、虫好きとしても知られる解剖学者の養老孟司を迎えます。

[料金] 一般 1,200円／大学生 800円／高校生 500円／中学生以下無料

[主催] 21_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団

[後援] 文化庁、経済産業省、港区教育委員会 [特別協賛] 三井不動産株式会社 [協賛] 株式会社TSDO

[協力] 株式会社ストラタシス・ジャパン、九州大学総合研究博物館、キヤノン株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社



同時開催

No. **13** GALLERY 21_21 **3**

Google Design Studio | comma

グーグル デザイン スタジオ | カンマ

10/20 Sun - 10/27 Sun

🕒 12:00 - 19:00

📍 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3

間があること、思考すること、詩的になること、そして繋がること。誰の日常にもあるこれらの瞬間を、comma(カンマ)と呼ぶことにします。これは、Googleが表現する新しい展示のテーマ。トレンド予測のバイオニア リドヴィッチ・エデルコートがセレクトした、日用品や穏やかなカラーリング、テキスタイルなど默想的なインスタレーションと共に、いかにテクノロジーが人々の暮らしに溶け込んでゆくのかを探索していきます。

[料金] 無料

[主催] Google



同時開催

No. **14** Tokyo Midtown DESIGN HUB

東京ミッドタウン・デザインハブ 第82回企画展

私の選んだ一品

ー2019年度グッドデザイン賞

審査委員セレクション

“My Favorite Design”

- The selection from GOOD DESIGN AWARD 2019

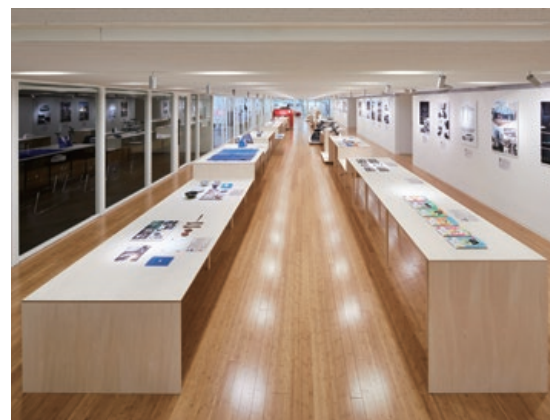
10/2 Wed - 10/25 Fri

🕒 11:00 - 19:00

📍 東京ミッドタウン・デザインハブ(ミッドタウン・タワー 5F)

※10/6(日)は休廊

グッドデザイン賞の審査委員は、デザイナーをはじめ建築家や研究者、ジャーナリスト、企業経営者など、多様な領域の前線で活躍する国内外の92名。そのひとりひとりのお気に入りや気になった受賞作＝「一品」を、グッドデザイン賞受賞展に先駆けて展示します。審査委員たちのデザインの読み解き方を知る貴重な機会です。



[料金] 無料

[主催] 東京ミッドタウン・デザインハブ

[企画・運営] 公益財団法人日本デザイン振興会

同時開催

No. **15**

PAPIER TIGRE | MOHEIM

パピエ ティグル | モヘイム

10/18 Fri - 11/4 Mon 🕒 11:00 - 21:00 📍 ガレリア B1

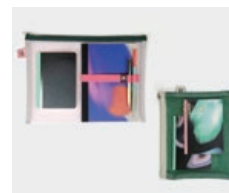
パリのステーションナリーブランド「パピエ ティグル」と、福井のプロダクトブランド「モヘイム」とのジョイントショップ。各ブランドのアイテムはもちろん、TIN BOXやペントレイなどのコラボレーションアイテムも並びます。それぞれが主張しながらも、自然と調和する2つのブランドの世界観をお楽しみください。



2012年に誕生したパリ発ステーションナリーブランド。表面的なデザインだけでなく、グラフィック、遊び心、実用性、行動を喚起する、といった要素を大切に、ライフスタイルの中で活躍するアイテムを展開します。

PAPIER TIGRE

The Pockets ¥1,400(税抜)



2014年創立のインテリアプロダクトブランド「MOHEIM / モヘイム」。国内外のデザインアワードを受賞したゴミ箱「SWING BIN」のほか、「STONEWARE」などシンプルで美しい商品が並びます。

MOHEIM

STONEWARE ¥1,400～(税抜)



虫展



Google Design Studio | comma

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH

26

FUSION / 融合

私の選んだ一品



PAPIER TIGRE | MOHEIM



27

サントリー芸術財団50周年

黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部 一美濃の茶陶

The 50th anniversary of the Suntory Foundation for the Arts
Mino Tea Wares: Kiseto, Setoguro, Shino, and Oribe

9/4 Wed - 11/10 Sun

🕒 10:00 - 18:00 📍 サントリー美術館 (ガレリア 3F)

※火曜日休館(11/5は開館)
※金・土および10/13(日)、11/3(日・祝)は20:00まで開館 ※入館は閉館の30分前まで
※作品保護のため、会期中展示替を行います。

桃山時代、茶の湯のためのやきもの「茶陶」が日本各地の窯で創造されました。岐阜県的美濃(東濃地域)では、力強い姿、鮮やかな色、斬新な意匠をもつ茶陶「黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部」が大量に焼かれ流行。そんな個性的で生き生きとした美濃焼の造形の魅力、近代以降の美濃焼の人気や評価の高まりを感じられる展覧会です。

【料金】 一般 1,300円／大学・高校生 1,000円／中学生以下無料

【主催】 サントリー美術館、読売新聞社

【協賛】 三井不動産、三井住友海上火災保険、サントリーホールディングス

同時開催
No. 17 FUJIFILM SQUARE

FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館 企画写真展

「覚醒する写真たち」 今 道子 + 佐藤時啓

Awakening Photographs: Michiko Kon + Tokihiro Sato

Part 1 | 今 道子「蘇生するものたち」 9/1 Sun - 10/29 Tue

Part 2 | 佐藤時啓「呼吸する光たち」 10/30 Wed - 12/27 Fri

🕒 10:00 - 19:00 📍 FUJIFILM SQUARE

※会期中無休 ※入館は閉館の10分前まで

異色の写真家と呼ばれた2人のアーティストによる表現は、限りなくアートに近い写真作品でありながら、反比例するように写真の原理や本質に近づいていきます。独自の方法で写真の真髄を精製していく創作行為は、まさに「写真の錬金術」。写真表現が複雑化、多様化している今「写真とは何か」を再考します。

【料金】 無料

【主催】 富士フイルム株式会社 【後援】 港区教育委員会

【協力】 PGI 【企画】 フォトクラシック



織部洲浜形手鉢 桃山時代 17世紀 サントリー美術館



Part1 今 道子「蘇生するものたち」
《タコ+メロン》1989年
写真:今 道子 ©Michiko Kon, Courtesy of PGI



Part2 佐藤時啓「呼吸する光たち」
《#275 Koto-ku Aomi》1996年
写真:佐藤時啓 ©Tokihiro Sato

No. 01

📍 P.06

The Forest of Design

Four contents to see, think, play, and create make their appearance at Midtown Garden. This definitely looks exciting! Let yourself go with the flow to proceed through the incredibly colorful walkway. A chance to come into contact with multiple facets of design.

📍 P.06

Roppongi Color Canyon

This dynamic installation is brought to us by SPREAD, a creator who was much talked about even at the Milan Design Week this spring. This is a completely new world of vivid colors, made using mesh fabric spanning over approximately 80m, under the concept of "becoming immersed in scenery." Lose yourself in this fusion of scenery and design filled with vibrantly colored canyons.

[Period] October 18 (Fri) - November 4 (Mon, Holiday) *Cancelled in the event of bad weather
[Time] 11:00 - 21:00
[Location] Midtown Garden
[Charge] Free
[Organized by] Tokyo Midtown
[Creator] SPREAD

📍 P.09

Moment

Witness the appearance of a sculpture on the theme of time. This work uses the wind as its motif to express a moment in time. Using the power of science, the shape of wind at a single instant is visualized, something that cannot be captured by the human eye, and then expressed in the form of sculpture. Viewing a moment, normally a concept we can never actually see, as an tangible object right in front of you, gives you a new insight into the significance of that instant in time. The mirror elements also place the observer into the work itself, providing an opportunity to think about the beauty waiting to be discovered in the time of our own long, yet also brief, lives.

[Period] October 18 (Fri) - November 4 (Mon, Holiday) *Cancelled in the event of bad weather
[Time] 11:00 - 21:00
[Location] Midtown Garden
[Charge] Free
[Organized by] Tokyo Midtown
[Artist] Akira Wakita
[Production Cooperation] HAKUTEN



Design Square

Presenting Good Design Award-winning playground equipment designed by product designer Naoto Fukasawa and interior designer Hisae Igarashi. These five types of playground equipment by the PLAY DESIGN LAB, which seeks to provide a better play environment for children, are colorful and simple, just like an art piece. The unique look different to ordinary playground equipment helps spread a wonderful sense of play.

[Period] October 18 (Fri) - November 4 (Mon, Holiday) *Cancelled in the event of rain or bad weather
[Time] 11:00 - 17:00
[Location] Midtown Garden
[Target age] 1 - 6 years old
[Charge] Free
[Organized by] Tokyo Midtown
[With Cooperation From] JAKUETS Inc.
[Creator] PLAY DESIGN LAB, Naoto Fukasawa, Hisae Igarashi



School of Forest 2019 by Roppongi Future Talks

This is the special opening of the School of Forest, as part of the Idea Realization Project of the web magazine Roppongi Future Conference. Under the blue sky, creators from different genres will hold special classes that will wake people's sense of the wild. Also features a real Design and Art Bookshelf, part of a popular series by the Roppongi Future Conference.

[Period] October 19 (Sat) - October 20 (Sun)
[Time] 11:00 - 17:00
[Location] Midtown Garden
[Charge] Free / prior registration required

[How to apply] Apply in advance from Peatix
[Organized by] Roppongi Future Conference
[Instructors] Shuji Nakagawa (woodworker), Haruka Misawa (designer)

No. 02

📍 P.12

Beyond Watchmaking

The giant 30 x 45 m pavilion appearing in the Grass Square is the exhibition by Audemars Piguet, a Swiss luxury watch brand. The twelve rooms set up like the dial of a watch will in part feature presentations on the decorations and craftsmanship of the movement* of timepieces by watchmakers. The exhibition of more than 150 models, including vintage watches with historical value, as well as the latest models, is a definite work of art. Making a reservation in advance will facilitate your entry.

*The mechanism that drives a watch.

[Period] October 19 (Sat) - November 4 (Mon, Holiday)
[Time] 11:00 - 19:30 *15:00 - 20:00 on October 19
*Last entry 30 minutes before closing
[Location] Grass Square
[Charge] Free / prior reservations accepted
[Organized by] Audemars Piguet
[Designer] Mathieu Lehanneur
[Artists] Alexandre Joly, Dan Holdsworth, Ryoji Ikeda

No. 03

📍 P.15

MAZDA DESIGN Exhibition

The CX-30 brings to life Mazda's "Soul of Motion" design philosophy, where "A car isn't simply a mass of metal. Mazda believes it's more like a living creature. Creating an emotional bond between a driver and their car comparable with the relationship between horse and rider." See for yourself the drama of light created by the CX-30 in this creative space themed on ever-changing light.

[Period] October 18 (Fri) - October 27 (Sun)
*Cancelled in the event of bad weather
[Time] 11:00 - 21:00
[Location] Canopy Square
[Charge] Free
[Organized by] Mazda Motor Corporation



黄瀬戸・瀬戸黒・
志野・織部
一美濃の茶陶



「覚醒する写真たち」
今 道子 + 佐藤時啓

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH





docomo x design

An exhibition of several dozen prototypes, sketches, and more of smartphones and other devices, never before made public. New products are formed through repeatedly trying out designs, working toward the envisaged ideal form. This is a chance to experience DOCOMO's vision of product design through actual objects you can touch, to see the ideas and commitment that inspire this company.

[Period] October 18 (Fri) – October 27 (Sun)
[Time] 11:00 – 21:00
[Location] Atrium
[Charge] Free
[Organized by] NTT DOCOMO, INC.
[Interviewed by] Design Magazine AXIS



DESIGN TOUCH CONFERENCE by Tokyo Midtown Design Club

A discussion on the possibilities of design by focusing on the theme of FUSION, bringing together leading figures in various fields such as SPREAD, creators of the Roppongi Color Canyon, creative director Yu Yamada, and Shunsuke Ishikawa, author of the book *Hello, Design: the Japanese and Design*.

[Period] October 25 (Fri) – October 27 (Sun)
[Location] Conference Room 1 / Room 9, Tokyo Midtown (Midtown Tower 4F)
[Charge] Free / Prior registration required
[How to apply] Apply in advance from Peatix
[Organized by] Tokyo Midtown Design Club



Salone in Roppongi vol.7 2019

With the motto of bringing to Roppongi the Brilliance of “Milano Salone”, world’s greatest design event held every year in Italy’s Milan, the event “Salone in Roppongi” will be held this year as well. This year will be the Seventh time. Masahiro Kakinokihara the designer of a select shop, Rocca SPIELE which held an exhibition biennially from 2012 in Orlandi that buyer from all over the world admits, is going to exhibit a mobile imaged from a word “Sustainable”

[Period] October 18 (Fri) – November 4 (Mon, Holiday)
[Time] 11:00 – 21:00
[Location] Galleria B1, in front of DEAN & DELUCA
[Charge] Free
[Organized by] Salone in Roppongi Executive Committee
[Creator] Masahiro Kakinokihara
[With Cooperation From] Dai Nippon Printing Co., LTD., Tokyo Midtown



DESIGNART TOKYO 2019: intree table

The intree table is an exhibit from DESIGNART TOKYO, held simultaneously with this event. This is a piece of outdoor furniture designed to create a small private space in a public area. The seats swing like branches when you sit while sporting your body at the table. It creates a unique sense of having become part of the trees. At the same time you can experience a sense of nostalgia while being in a new community space.

[Period] October 18 (Fri) – November 4 (Mon, Holiday)
[Time] 11:00 – 19:00
[Location] Plaza 1F, in front of KONAMI Headquarters *Cancelled in the event of rain or bad weather
[Target age] 16 years or older
[Organized by] DESIGNART Executive Committee
[With Cooperation From] Tokyo Midtown
[Creator] team balanco



TOKYO MIDTOWN AWARD 2019

[Organized by] Tokyo Midtown
[URL] <http://www.tokyo-midtown.jp/award/>
•Annoucement of Awards / Award Ceremony
[Date] October 18 (Fri)
[Time] 16:30 – 17:30
[Location] Special venue in front of the artwork Shape of Mind (Ishinki) on Plaza B1
•Exhibition of Award-winning Works
[Period] October 18 (Fri) – November 10 (Sun)
[Location] Plaza B1
[Charge] Free



Hanzoo!

Redesigning gloves to serve as communication tools for the family, between parents and children or among children. This product fuses the practical values of protecting and warming the hand with the emotional value of enjoying companionship. Feel for yourself the potential to create freedom of movement for the fingers and hand while wearing the gloves. Make sure to have a look at the other items also on display.

[Period] October 18 (Fri) – November 4 (Mon, Holiday)
[Time] 11:00 – 21:00
[Location] Galleria 1F, in front of Bonpoint
[Charge] Free
[Organized by] DAIKO / Product Lab.



GOOD DESIGN EXHIBITION 2019

GOOD DESIGN EXHIBITION 2019 is one of the biggest design events in Japan, to the extent that you can understand this year’s trends just by attending the exhibition. This year’s theme is the GOOD DESIGN MUSEUM. The entrance covers the over sixty years of history of the Good Design Awards, then leads to an exhibition of 1,400 award-winning items from fiscal 2019, bringing visitors into the world of Good Design as they visit various parts of Tokyo Midtown. The first day also gives you a chance to join in the voting for the Good Design Grand Award on the stage in the venue. These five days will be an excellent chance to enjoy in full Good Design as part of our daily lives.

[Period] October 31 (Thu) – November 4 (Mon, Holiday)
[Time] 11:00 – 20:00 *Till 18:00 on the last day *Last entries 30 minutes before closing
[Location] Various places in Tokyo Midtown (General reception in Midtown Hall)
[Charge] Free entry
[Organized by] Japan Institute of Design Promotion



Looking for GOOD DESIGN

You can find a broad range of products with high sense of design at shops at Tokyo Midtown. Why not look for Good Design Award-winning items by walking around Tokyo Midtown?

[Period] October 18 (Fri) – November 4 (Mon, Holiday)
[Location] Each store in Tokyo Midtown
[Organized by] Tokyo Midtown



Insects: Models for Design

Insects are all around us, yet we know surprisingly little about them. This exhibition focuses on insects from various perspectives: the surprising ways in which they work, their structure and their ecology. The more about which you learn, the more surprised you will be. This exhibition presents a novel approach to a new facet of design from insects, by looking at their diversity and relationship to humans. The exhibition is directed by graphic designer Taku Satoh, and supervised by Takeshi Yoro, an anatomist known for his love of insects.

[Period] July 19 (Fri) – November 4 (Mon, Holiday)
[Time] 10:00 – 19:00
*Closed on Tuesdays (Except October 22)

*Last admittance 30 minutes before closing
[Location] 21_21 DESIGN SIGHT Gallery 1 & 2
[Charge] Adults ¥1,200 / University Students ¥800 / High School Students ¥500 / Junior High School Students or younger free
[Organized by] 21_21 DESIGN SIGHT, THE MIYAKE ISSEY FOUNDATION
[In association with] Agency for Cultural Affairs; Ministry of Economy, Trade and Industry; MINATO CITY BOARD OF EDUCATION
[Special Sponsor] Mitsui Fudosan Co., Ltd.
[Sponsor] TSDO Inc.
[Supported by] Stratasy Japan, The Kyushu University Museum, Canon Inc., Canon Marketing Japan Inc.



Google Design Studio | comma

A pause, a thought, a poem, a connection... These in between human moments in life are what define comma, a new exhibition by Google. A contemplative installation curated by trend forecaster Lidewij Edelkoort, exploring how technology is seamlessly integrated into our homes. These still lifes are composed of everyday objects, calming colours, and textile wall hangings by Dutch interior architects Ina + Matt, bridging the tradition of weaving with the designing of hardware. The exhibition is punctuated by a series of lifestyle moods that when brought together, link into a whole.

[Period] October 20 (Sun) – October 27 (Sun)
[Time] 12:00 – 19:00
[Location] 21_21 DESIGN SIGHT Gallery 3
[Charge] Free
[Organized by] Google



Tokyo Midtown Design Hub 82nd Exhibition “My Favorite Design” – The selection from GOOD DESIGN AWARD 2019

The selection committee of the Good Design Awards consists of 92 members from inside

and outside Japan who are active in the very front rank of a wide variety of fields, including designers, architects, researchers, journalists, and businesspeople. This exhibition allows visitors to see individual works selected as being of particular interest or fancy by each of these members, prior to the Good Design Awards own exhibition. This is an excellent chance to gain insights into how the screening committee perceive these works.

[Period] October 2 (Wed) – October 25 (Fri)
*Closed on October 6 (Sun) only
[Time] 11:00 – 19:00
[Charge] Free
[Location] Tokyo Midtown Design Hub (Midtown Tower 5F)
[Organized by] Tokyo Midtown Design Hub
[Planning & Operation] Japan Institute of Design Promotion



PAPIER TIGRE | MOHEIM

A joint shop by Papier Tigre, a Parisian stationery brand, and Moheim, a product brand of Fukui. In addition to the items from each brand, collaborative pieces such as tin boxes and pen trays are also lined-up. Delight in the worldviews of these two brands, each emphasizing its own uniqueness, while both insist on harmony with nature.

[Period] October 18 (Fri) – November 4 (Mon, Holiday)
[Time] 11:00 – 21:00
[Location] Galleria B1



The 50th anniversary of the Suntory Foundation for the Arts

Mino Tea Wares: Kiseto, Setoguro, Shino, and Oribe

In the Momoyama era, ceramic utensils for the tea ceremony were made in kilns throughout Japan. Mino, located in the Tono region of Gifu, became well known for the large volumes of Kiseto, Setoguro, Shino ware, and Oribe ware,

famed for their powerful presence, vivid colors, and novel designs. This exhibition underlines the high level of popularity and appreciation for Mino ware from the modern period, for the beauty of its lively and unique forms.

[Period] September 4 (Wed) – November 10 (Sun)
[Time] 10:00 – 18:00
*Closed on Tuesdays (However, November 5 is open until 18:00)
*Last admission:30 minutes before closing.
*Friday, Saturday and October 13 and November 3 open until 20:00
*There will be an exhibition change during the course of exhibition.
[Location] Suntory Museum of Art (Galleria 3F)
[Charge] General ¥1,300 / University and High school Students ¥1,000 / Junior high school Students and under may enter for free
[Organized by] Suntory Museum of Art, The Yomiuri Shimbun Company
[Sponsored by] Mitsui Fudosan Co.,Ltd, Mitsui Sumitomo Insurance Co.,Ltd, Suntory Holdings Limited



The Photo History Museum at FUJIFILM SQUARE Presents

Awakening Photographs: Michiko Kon + Tokihiro Sato

These two artists, noted for their differences as photographers, create photographic pieces that are indistinguishable from works of art, yet at the same time stay close to the principles and intrinsic nature of the photograph. The unique creative process steeped in the essence of photography is truly photographic alchemy. As photographic expression diversifies into greater complexity, these works give us a chance to reflect upon the true nature of photographs.

[Period] Part 1: Michiko Kon—Reviving Objects September 1 (Sun) – October 29 (Tue)
Part 2: Tokihiro Sato—Breathing Lights October 30 (Wed) – December 27 (Fri)
[Time] 10:00 – 19:00
[Location] FUJIFILM SQUARE
[Charge] Free
[Organized by] FUJIFILM Corporation
[Support] Minato City Board of Education
[With Cooperation From] PGI
[Planning] Photo Classic



Information

SHOPS▶11:00 – 21:00 RESTAURANTS▶11:00 – 24:00

※一部店舗により異なります。詳しくはフロアガイドをご確認ください。
*Some shops keep different hours. Please check the floor guide for full details.

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-1

東京ミッドタウン・コールセンター

03-3475-3100 [受付時間 10:00–21:00]

東京ミッドタウン / TOKYO MIDTOWN

<http://www.tokyo-midtown.com/>

